

平成23年度 福井型コミュニティ・スクール推進事業実施報告書
地域と学校が体験学習（環境保全）を推進
 勝山市立鹿谷小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	8回
地域及び家庭への学校公開	12回(のべ)10日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	30人
授業ボランティア(含:低ボラ)	4人
登下校支援ボランティア	100人
その他(読み聞かせ)	154人

(3) 特色ある活動

テーマ「心の教育の充実」

具体的活動内容

地域と連携した特色ある活動(各種団体の学校教育活動への参加)

町老人会社会参加部との連携活動

- ・会員の協力で「学校給食畑耕作と芋植え体験」
- ・会員の協力で「稲作(田植え)体験活動」
- ・会員の協力で「稲作(稲刈り)体験活動」
- ・会員とボランティア合同の感謝の会の実施、鹿の子発表会参観



年間を通して、金曜日の読み聞かせ(読み聞かせの会)

- ・12名の読み聞かせボランティアの協力

見守りパトロール隊、見守り隊、子ども110番の家の方々との交流

- ・見守りパトロール隊の方との顔合わせの会、見守り隊のパレード
- ・安全な登下校について訓話指導、登下校の付き添い

地域役員の参加を得た地区懇談会の実施

- ・11地区での実施(子どもの実態、地域あげての育成活動)
- ・保護者および地区区長、民生児童委員、一般の方の参加
- ・青少年の育成問題と地域の子供の健全育成について検討
- ・地域での子ども安全安心活動について(危険箇所の把握)

地域ボランティアによる4年生「わくわく合宿通学」事業

- ・町の次世代育成委員会、町づくり協議会との共催
- ・市役所の若手職員及び大学生ボランティアによる生活の指導
- ・地域家庭のもらい湯の提供、地域ボランティアの笹寿司作り
- ・大袋トンネルを見学 ・梅田教育長を囲んで「夢を持つ事の大切さ」を聞く会



成果

- ・地域のネットワーク力の体制が確立され、地域の人による学校教育活動への参加、協力を得られた。
- ・地域における児童の指導について、多くの団体が連携協力して対応して下さった。
- ・学校教育に地域の教育的土壌が反映でき、地域に密着した教育が進められるようになった。
- ・学校行事への参観が増え、子どもの意欲も高められた。

課題

- ・地域の組織をいかに有機的に活用することができるかスクールプランに(環境を守る会)仮称盛り込む。
- ・学校教育に協力いただける地域ボランティアの人材バンクの充実を推進する。